

刊夕 日五十二月九



日刊夕... 印刷所... 発行所...

地方債にも應ずる

余祐金の運用擴張

信用組合平庶民金庫に於て
今廿五日の總代會で

平庶民金庫では今二十五日午後一時から同庫樓上に臨時總代會を開いて組合事務所の平町となるを平市に名義變更するもの及び事業區域が平町となるのを平市の舊平町となす變更の件の外時局に關する事項について協議するところであったが尙ほ近年益々基礎堅實なる發達を見てゐる同金庫には常に二十萬圓を超える餘利金があるもので之れが活用の爲め運用の範圍を擴大し定款第二十條に地方債の借入申込みにも應じて得る一項を加へ平市の市備にも應ぜんとするもの、外尚ほ餘利があるときは他の自治体等にも之れを行はんとすることに於ては差當つて市の金融關係に少なからざる利便を見られることであらう

築港に恵まれる

躍進的の四倉町

過去五ヶ年以前に較べれば
漁獲も製造も倍以上

四倉町では築港第一期工事の竣工に引續いて施行運動中であつた第二期工事の續行が確定的なものとなつたので二期工事の同完工を完成するに相まつて右第一期工事による漁獲の進展の現漁業を更に倍加するものと豫期されてゐる。築港に大成功を収めた第一期工事の漁獲は總工費四十四萬圓を投じられたもので港幅八千坪は漁船の出入に要する分を除いても約七十坪の現漁船を容るに足り之れが爲に膨脹せる同地の漁業は昭和七年の漁獲總額九十一双より十一年に於て二百二十九双に増加し漁獲高の比較を上げれば前記七年の卅萬一千二百八十一圓から四十五萬一千百三十三圓に増す七十五萬四千三百九十四圓に上り水産製造高にありて同年の廿一萬四千八百八十二圓より五十三萬八千六百七十

平市議案上げ

選挙會

来る廿九日に行ふ

平市では市會議員根本品藏氏の死亡による次期選挙多田井笑次郎氏の繰上げ選挙會を来る廿九日午後一時施行に決した。當時に於ける立會人左記の立會を以て選挙會により之れを決せられる事になつてゐる。

鈴木廣成 安齋勝美 三森

警察部長來郡

青柳警察部長は來廿八日の縣立回春園増築地鎮祭に臨席の等で土屋衛生課長と共に廿七日石城に來郡當日警署東線小川警察署に下車赤井診療所を視察し廿八日は草野、鹿野の兩診療所及平細菌検査を視察す

常識講座

シエーク・ハンドは握手の意だ、シエーク・ダウンはだまして金を奪ふこと、シエスチュアは身振りとか態度、シエンは美しいこと、美人のこと一般に云ふシヤンは其れだもの

晩秋繭の取引

四倉市場昨二十四日の出廻りは一〇六萬五二〇〇及相場は左記の如くである

最高四五圓 最低四〇圓〇
平均四二圓七九錢

銃後に溢るる

軍事後援會の寄附

累計八四六七圓九九錢

銃後に溢るる、軍事後援會の市内各區振當に附金が溢ることを既報の如く其の後援會管舎一三七圓南町四二三圓の義金者名左の如く累計八千四百六十七圓九九錢となつた

【鐵道管舎百三十七圓】軍事支隊 櫻本要三 柴健藏 村田賢明 關口武廣 猪狩近美 山口健 機關區味香啓 尾藤彦太郎 遠藤重治 幸之助 有坂銀治 木橋重真 高木英 富田亨 大樂峯次郎 鈴木八五郎 根本金定 鈴木保雄 松崎徳長 吉田正芳 目黒馨 山川三一郎 西山義孝 岡田昌

銃後の美談

増田醫師の篤行

平市南町醫師増田氏は去十三日警署東線車中に於て應召軍人長谷川光男君と乗合せた際同君から老祖父及び妻と三人の子供を残し生活も豊かでないといふ境遇に同情し、別として持合せた現金在中の財布を其のまゝ贈り及ばずながら光男君の家族の慰問救助に盡すと勵まされた同君から今廿五日感激の諸状を平署に送られたので同署では直ちに増田氏に其の旨を傳へた

軍事郵便は

この心得て

お出しなさい

戦場の將兵に待たれる故國からの郵便物は仙台通信局管内に於て毎日取扱はれるもの六萬通と云はれてゐるが軍事郵便に對しては心得がなければならぬ。後人の心懸しが空しく消えて終ふものも相當にあるので同局では管内各郵便局へ差出人に對し懇切な指導をなすやうに示達されてゐるが同郵便の主

旅費を借た上に

下宿料を踏倒す

平市市六門門生丸無頼島三男(三)は去る八月三十一日市内長崎町渡邊よし方に下宿に入り數日を經たる際、馴れに乘じ今より借付けた金を旅費に用ひ、下宿料六圓五十錢を踏み倒して逃走目下その筋の嚴探中である

主家の銅線窃盜

平市長橋町古物商加藤義久方

老母ウメ儀永々病氣の處療養不

相叶本日午後四時死去致候間生前格別の御懇情を謝し旁々御報申上候

追て告別式は本月二十六日午後二時郷里石城郡警崎村大字白鳥の實家に於て佛式を以つて執行可致候

昭和十二年九月二十四日

平市字材木町六番地

親戚總代 篠山 直忠
荒木 直忠
青木 直忠
野崎 直忠
友人總代 千野 直忠

面宛で私用のものは當分取扱はぬ

☑ 慰問袋は小包となるから中に特定人宛の通信文を入れると違反になる(小學生等の作文は可)小包は轉戦してゐる將士の手が届くまで相當日数を要するため腐敗、變質、破損等のし易いものは入れないこと

☑ 名宛は「北支派遣軍何々部隊何某」と部隊名を書くこと、若し部隊の現在地不明の際は單に部隊名を書き出すことは出来ない(以上)

雇人丸山善之助(四)は去月中山家鋼線五百尺を盗み大町古物商横田平藏に賣却したこと發覺し署の取調の上今日送局

魁文堂
代理店 魁文堂
今晩は北東の風、曇時々晴明日は北東の風、曇

千野 青木 荒木 高木 篠山 直忠
野崎 直忠
葉崎 直忠
右瀨 直忠
近藏 直忠

☑ 軍事郵便物(通常郵便のみ)は航空郵便に取扱ふことが出来る、この際は一航空と株書、また小包中から千入針、千入力等の如く一刻も早く届けたい場合は第一種便とすること

☑ 軍事郵便物、北支、上海、在滿將兵軍需等と送金する場合は内國爲替と同様小爲替または通常爲替證書を手紙に納め軍事郵便として出せばよい、但し北支、上海方面へは電信爲替を振出すことは出来ない(以上)



水稻の混作と
第二期作 (下)

埼玉県農産の試み
第一期作は四月四日播種(混
合で揚床水苗代に播種(灌
水稍深く)苗代肥料硫酸二
十匁、糞灰六十匁、過磷酸
石灰二十匁、魚肥二十匁▲
植付九月十四日、畦幅八寸
株間六寸、片正條一株六本
植えに行ふ▲本田肥料は堆
肥二〇〇匁、硫酸五匁、過
磷酸石灰一〇匁、糞灰二〇
匁、魚肥五匁、石灰一〇匁
で除草三回、六月三十日に
出穂した、
第二期作は六月十五日播種
一合で播種(抑制II加磷分を
多量施し)苗代は硫酸二十匁
糞灰五十匁、過磷酸石灰百五
十匁、魚肥十匁で揚床水苗代
とした、八月六日早生一期作
刈取り後馬糞施肥(硫酸五匁
糞灰一〇匁、堆肥一五〇匁、魚
肥三匁)をなし畦幅八寸、株
間七寸片正條植、一株十五本
で植付けをしたもので出穂は
九月中旬、成熟は十月二十日
前後、刈取りは十一月上旬と
豫想される、
富田勘右工門氏の持論とす
るものは「土地を見る」で土
地を耕耘することが優良なる收穫
を得る基礎であると唱ひてゐ
る、また人糞は一切使はずに
堆肥主義でもつて通し其れ故
同氏は毎年一萬貫以上の堆肥
をつくつてゐる、
大体以上の様なやり方で今
年の一期作で獲れる米は四
等米に合格し東京市神田市
場に於ては値十六圓に
當る一石四十圓でもつて賣
れてゐる。(完り)

いわき新聞社
モビー油
日本株式会社
池田

特別販賣
支那山形支店
支店 池田
支店 支店
支店 支店
支店 支店

支店 支店
支店 支店
支店 支店
支店 支店

婦護看
平沼

デーリーサービス	
品目	品目
カッレツ	チキン
ポトフ	カツ
チヤップ	カツ
火	カツ
水	カツ
木	カツ
金	カツ
土	カツ
日	カツ

産科 院長 木村富次郎
婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 大岩俊雄
藥局

本市新川町九
入院隨意 木村病院
病室完備

外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科

書夜 北川外科

診療 (血液検査毎日)
イツデモ 入院デキマス

平市新川町二七(電四六四)
醫師博士 北川芳夫
技師 小林良次

産科、婦人科専門
根本醫院 (平市南町)

病室 入院隨時... 根本庄次郎
増築 手術室完備... 根本貞雄

特にマルチモの
ランチは...

RESTAURANT MARUTOMO
平市南町 車場通
電話 二二三

料理のよまかせを願つて居
る爲め其の節々のおいしい
新鮮な物を御進め出来ませ
るので御華客様からいつも御
好評を蒙りて居ります

養生堂

便利で
経済な
日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいませ
身元確かて品行方正ですから
何をお任せしても安心です

平市南町十八(西村屋横町)
會長 日下すい子
電話 七二三番

山野邊藥局
本市
八〇瓦入 五十個
四〇瓦入 九十個
一〇瓦入 二四〇個

五丁目角

皮膚科 泌尿器科
性病科

診療時間 午前八時より午後九時まで

醫學博士 江尻伊三郎
平市南町 電話 六九二番

院 江尻

和洋鋼鐵、金物問屋
店 南 屋 釜
九九・九電

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
平市大工町 電話 五九一

齋藤齒科醫院
東京齒科 醫學士 齋藤賢三

診療 口腔外科、補綴科
保存科、齒列矯正科
小兒齒科
(其他齒科一般)

平市南町(藤田女學校前)

スヘインG・H・N 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒 1.10

飲用の方には少し水を加へて
召し上ると風味一そけいです

(平?) 西村屋藥舖 (電?)